

バッチ設計書								
OverView	システム名称	サブシステム名称	業務名称	バッチ名称	作成日		作成者	
		販売管理	商品在庫管理	定点発注処理	修正日		修正者	

Overview

The diagram illustrates the system architecture for the '定点発注機能' (Fixed Point Ordering Function). It shows four input data sources on the left: '商品マスタ' (Product Master), '入出庫' (Inventory In/Out), '仕入先マスタ' (Supplier Master), and 'ユーザ情報' (User Information). These inputs feed into the central '定点発注機能' (Fixed Point Ordering Function) block. This function block then interacts with two output components on the right: '決済承認WF API' (Payment Approval Workflow API) and '発注データ' (Ordering Data). Additionally, '月初商品在庫' (Monthly Inventory) is shown as a separate data source that also feeds into the '定点発注機能'.

必要DB		
テーブル名	I/O	備考
商品マスタ	I	取扱い商品の定点発注を行う
入出荷テーブル	I	現時点の理論在庫を算出する
仕入先マスタ	I	発注先の情報
月初商品在庫	I	棚卸結果の月初在庫が登録
発注データ	O	発注を行う為のテーブル
決済承認データ	O	APIをコールする事で作成する。

【処理の概要】

理論在庫を参照し、在庫が不足している場合、自動で発注を行う。

また、商品マスタに決済必要となっていた場合には、承認フローを作成する。自動発注となっている場合は、発注テーブルを作成する。

バッチ設計書							
アクション定義	システム名称	サブシステム名称	業務名称	バッチ名称	作成日		作成者
		販売管理	商品在庫管理	定点発注処理	修正日		修正者

処理内容

- 1 安全在庫の確認を行う為、全ての商品テーブルを取得する（商品レコードセット）
 - 1.1 取得した商品IDと、当月を条件に、月初商品在庫テーブルの数量を取得する。

月初商品在庫.商品ID = 商品レコードセット.ID
AND 月初商品在庫.集計月 = TO_CHAR(sysdate, 'yyyymm')
 - 1.2 取得した商品IDを元に、入出荷テーブルより、入荷数量を算出する。

入出荷テーブル.商品ID = 商品レコードセット.ID
AND 入出荷テーブル.在庫変更タイプ = 1 '入荷
AND 入出荷テーブル.入出荷日時 >= 当月+"01"+"00:00:00"
AND 入出荷テーブル.入出荷日時 <= 当日
 - 1.3 取得した商品IDを元に、入出荷テーブルより、出荷数量を算出する。

入出荷テーブル.商品ID = 商品レコードセット.ID
AND 入出荷テーブル.在庫変更タイプ = 2 '出荷
AND 入出荷テーブル.入出荷日時 >= 当月+"01"+"00:00:00"
AND 入出荷テーブル.入出荷日時 <= 当日
 - 1.4 現時点の理論在庫を算出する。

月初商品在庫 + 入荷数量 - 出荷数量 = 現時点の理論在庫
 - 1.5 算出した理論在庫と安全在庫を比べる

（商品テーブル.安全在庫数量 > 1.4で算出した理論在庫）だった場合

 - 1.5.1 商品テーブルの在庫レベルを参照し、承認フローだった場合

商品テーブル.在庫レベル = 1（承認フロー）

 - 1.5.1.1 同一の承認フローがフロー中かの確認を行い発行されていない場合は、承認フローAPIを実行する
 - 1.5.1.1.1（共通部品を参照）共通承認フロー存在確認（商品レコードセット.商品ID、商品レコードセット.商品名、商品レコードセット.取引先ID、商品レコードセット.平均仕入金額×商品レコードセット.自動発注単位,"定点自動発注", AUTO_ORDER_USER_ID)
 - 1.5.1.1.2（共通部品を参照）共通承認フロー回付（商品レコードセット.商品ID、商品レコードセット.商品名、商品レコードセット.取引先ID、商品レコードセット.平均仕入金額×商品レコードセット.自動発注単位,"定点自動発注", AUTO_ORDER_USER_ID)
 - 1.5.2 商品レコードセットの在庫レベルを参照し、自動発注だった場合

商品レコードセット.在庫レベル = 2（自動発注）

 - 1.5.2.1 発注発注データを作成する。
 - 1.5.2.1.1 発注テーブルを参照し、発注中のデータ存在確認を行う以下の条件でデータが存在した場合は、発注テーブルを作成しない

発注テーブル.商品ID = 商品レコードセット.商品ID
発注テーブル.発注ステータス IN (1,2,3)
 - 1.5.2.1.2 [1.5.2.1.1]の結果で発注テーブルを取得出来なければ発注データを作成する。

発注データの編集方法は編集定義を参照してください（編集処理の内容：発注処理）

